

## 事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 東京都

**【基本情報】**

フリガナ	トクテイエイリカツドウホウジンマチダヒューマンネットワーク
法人名	特定非営利活動法人町田ヒューマンネットワーク
フリガナ	ヘルパーステーション・マイライフ
事業所名	ヘルパーステーション・マイライフ
施設・事業所種別 (指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
<b>訪問系事業所</b>	
職員数(常勤換算数) 【「従事者の1ヶ月の勤務時間」/「事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週)」にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
<b>64.3 人</b>	

(1) 主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別:	<input checked="" type="checkbox"/> 移乗介護	<input type="checkbox"/> 排泄支援	<input type="checkbox"/> 入浴支援
	<input type="checkbox"/> 移動支援	<input type="checkbox"/> 見守り・コミュニケーション	

機器名(導入台数): J-PASfleairy本体(2台)

(2) ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	33 人	1 移動・移乗・体位変換	186 件	2,232 件	31 分	38,056 人時間	35 時間
		2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		186 件	2,232 件	31 分	38,056 人時間	#DIV/0!	

- ※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援
- ※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等
- ※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

毎日3回の移乗や体位交換が必要な利用者が2名のため3回×31日×2名=186回

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

A利用者: ベッド上での着替え、体位交換、車椅子への移乗に新人介助者はおおよそ35分、熟練介助者は25分かかり平均30分。  
B利用者: 床からのベッド、床から車椅子への移乗に新人・熟練介助者問わずおおよそ1分かかる。

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	A.業務従事者数	発生件数		D. 1件当たりの平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり業務時間 (C×D/A)	
		B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)				
直接介護	33 人	1 移動・移乗・体位変換	186 件	2,232 件	27 分	33,145 人時間	30 時間
		2 排泄介助・支援		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		3 生活自立支援(※1)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		4 行動上の問題への対応(※2)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		5 その他の直接介護		0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務		6 巡回・移動		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		8 見守り機器の使用・確認		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		9 その他の間接業務		0 件		0 人時間	#DIV/0!
		186 件	2,232 件	27 分	33,145 人時間	#DIV/0!	

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

毎日3回の移乗や体位交換が必要な利用者が2名のため3回×31日×2名=186回

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

A利用者: ベッド上での着替え、体位交換、車椅子への移乗に新人介助者はおおよそ30分、熟練介助者は22分かかり平均26分。  
B利用者: 床からのベッド、床から車椅子への以上に新人・熟練介助者問わずおおよそ1分かかる。

年間業務時間数想定削減率(%)

12.9%

(3) 削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4) ロボット機器等の導入により得られた効果

介護時間の大きな削減にはならなかったが身体的負担や疲労感の軽減に効果があった。

(5) 今後の課題

- ・機器のメンテナンスを継続して行っていく。
- ・介護アシストスーツ着用に懐疑的な職員への声掛けや好事例の周知を行っていく。
- ・介護機器を導入している事を広くアピールし採用に結び付けていきたい。

(6) 気づき等について

- ・介護アシストスーツの付け心地が思っていたより負担にならず、常時着用するヘルパーもいた。
- ・効果の感じ方に個人差がある事。

(7) 費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減  有  無

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円/月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1) その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2) サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。